



手動付オートドレン

B5102

取扱説明書

- お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書はいつも操作者が手にとって使用できる
ところに大切に保管してください。

はじめに

このたびは、手動付オートドレンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用される前に、この取扱説明書をよく読んでいただき、正しくお使いください。間違った使用をされますと、性能を十分に発揮できなかったり故障や思わぬ事故を招くことがありますので注意してください。

なお、この取扱説明書は紛失されませんように大切に保管してください。

製品の仕様書の変更により、この取扱説明書の内容が製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

目 次

| | |
|-----------------------|---|
| 1. 製品に関する事項 | |
| 1-1 仕様 | 1 |
| 1-2 外形寸法 | 1 |
| 2. 注意事項 | 2 |
| 3. 据付に関する事項 | 3 |
| 4. 保守点検に関する事項 | |
| 4-1 保守上の注意 | 4 |
| 4-2 ボウルの脱着方法 | 5 |
| 4-3 分解図および部品リスト | 6 |
| 5. 形番表示方法 | 8 |

1. 製品に関する事項

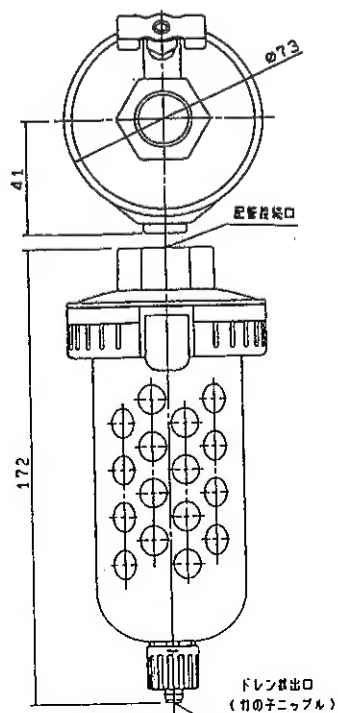
1-1. 仕様

| 形番 | 手動付オートドレン | |
|------------------------|-----------------------------------|----------------|
| 項目 | B5102-3-4C-FJ | B5102-3-4C-F1J |
| 使用圧力範囲 MPa | 0.1~1.0 | 0.15~1.0 |
| タイプ | ノーマルオープン | ノーマルクローズ |
| 保証耐圧圧力 MPa | 1.5 | |
| 使用温度範囲 °C | 5~65 | |
| ドレン排出量 cm ³ | 3.5 (圧力 0.5MPa 時) | |
| 接続口径 Rc | 3/8・1/2 | 3/8・1/2 |
| ドレン排出部接続部口径 | 竹の子ニップル(ナイロンチューブ内径φ5.7~φ6を直接接続可能) | |
| 製品質量 kg | 0.55 | 0.55 |
| ボウルガード | 標準装備 | |

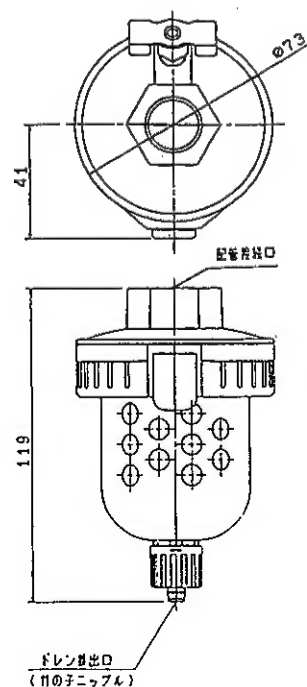
| 形番 | 手動付オートドレン | |
|------------------------|-----------------------------------|---------------|
| 項目 | B5102-3-4C-F | B5102-3-4C-F1 |
| 使用圧力範囲 MPa | 0.1~1.0 | 0.15~1.0 |
| タイプ | ノーマルオープン | ノーマルクローズ |
| 保証耐圧圧力 MPa | 1.5 | |
| 使用温度範囲 °C | 5~65 | |
| ドレン排出量 cm ³ | 3.5 (圧力 0.5MPa 時) | |
| 接続口径 Rc | 3/8・1/2 | 3/8・1/2 |
| ドレン排出部接続部口径 | 竹の子ニップル(ナイロンチューブ内径φ5.7~φ6を直接接続可能) | |
| 製品質量 kg | 0.55 | 0.55 |
| ボウルガード | 標準装備 | |

1-2. 外形寸法図

●B5102-3-4C-FJ ●B5102-3-4C-F1J



●B5102-3-4C-F ●B5102-3-4C-F1



2. 注意に関する事項

- ・ドレン排出部配管は、内径φ5.7以上、長さ5m以内で、立ち上がりは配管は避けてください。
- ・ノーマルオープンタイプのオートドレンをご使用の場合、適用コンプレッサは、0.75kW以上(吐出流量90ℓ/min以上)としてください。
- ・ドレン排出不良等の点検をするときは、ボウル内のエアを抜いて行ってください。ドレンユニットの水洗い後、エアガンで吹きつけてください。
- ・直射日光は避けてください。
- ・下記のような薬品がポリカーボネイトボウルの近くにある場合は、取付け場所を考慮してください。

| | | |
|--------------|--------------------|-------------|
| ・アクリロニトリル | ・酢酸 | ・ニトロベンゼン |
| ・アセトアルデヒド | ・四塩化エタン | ・二硫化炭素 |
| ・アセトン | ・四塩化炭素 | ・パークロールエチレン |
| ・安息香酸 | ・シクロヘキサノン | ・ピリジン |
| ・エチルアミン | ・シクロヘキサン | ・フェノール |
| ・エチルエーテル | ・シクロヘキサノール | ・ブチル酸 |
| ・エチレンクロルヒドリン | ・ジオキサン | ・フッ化アンモニア |
| ・塩化イオウ | ・ジメチルホルムアミド | ・フレオン |
| ・塩化メチレン | ・硝化綿(ニトロセルローズ) | ・ブロムベンゼン |
| ・塩酸 | ・硝酸 | ・プロピオン酸 |
| ・オキシ塩化リン | ・水酸化カリウム溶液(5%以上) | ・ベンゼン |
| ・ガソリン | ・水酸化カルシウム | ・ベンチンアルコール |
| ・ギ酸 | ・水酸化ナトリウム溶液(5%以上) | ・メチルアルコール |
| ・キシレン | ・チェフェン | ・ラッカーシンナー |
| ・クレゾール | ・テトラヒドロナフタリン | ・硫化アンモニア |
| ・クロロベンゼン | ・トリクロールエチレン(トリクレン) | ・硫化ナトリウム |
| ・クロロホルム | ・トルエン | ・硫酸 |
| ・三塩化リン | ・二塩化エチレン | ・リン酸エステル |

3. 据付に関する事項

- ・ドレンの排出口が下向きになるように取り付けてください。
- ・周囲温度が、65℃以上になる場合での使用は避けてください。
- ・周囲圧力が、1.0MPa以上にならないようにして下さい。また、ノーマルオープン形の場合は、最低作動圧力として0.1MPa以上を必要としますので、0.1MPa未満でのご使用はできません。
なお、ノーマルクローズ形の場合は、最低作動圧力として0.15MPa以上必要としますので、0.15MPa未満でのご使用はできません。
- ・メカニカルドレン形の場合、ドレンラインは内径φ5.7以上のチューブを使用してください。チューブは、なるべく短くして折れないように注意してください。
内径φ5.7のチューブを使用される場合は、5m以内にしてください。

4. 保守点検に関する事項

圧縮空気を止めて、ドレンコックなどで残圧排出をし、製品内に圧力がないことを必ず確認してからボウル等の取り外しを行って下さい。

4-1. 保守上の注意事項

1) 手動排出付メカニカルドレン形

フロート式自動排出装置を内蔵しておりますので、ドレンが一定量溜まると自動的に排出されます。

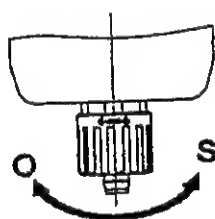
この機種には手動排出装置も内蔵されておりますので、マニュアルドレンとして使用することができます。

ボウル底部の下に出ている手動コックを反時計回りに回すと、マニュアルドレンになります。

ドレンが自動排出されない、あるいはボウル底部にゴミが溜まった場合は、手動にてドレンを排出してください。

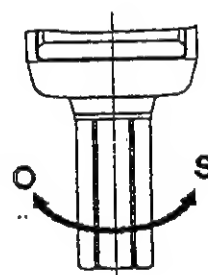
2) ドレンの手動排出

プラスチックボウル



ドレンがたまると自動で排出しますが、手動での排出もできます。
コックをO方向にまわすとドレンが排出され、S方向に回すとドレン排出が止まります。

メタルボウル








ドレンがたまると自動で排出しますが手動での排出もできます。
操作方法はプラスチックボウルと同じです。
締付ジョイントを配管される時は、手動操作が出来なくなることがあります。

次のような現象が起きた場合は次項の要領で分解し、新規部品と交換してください。

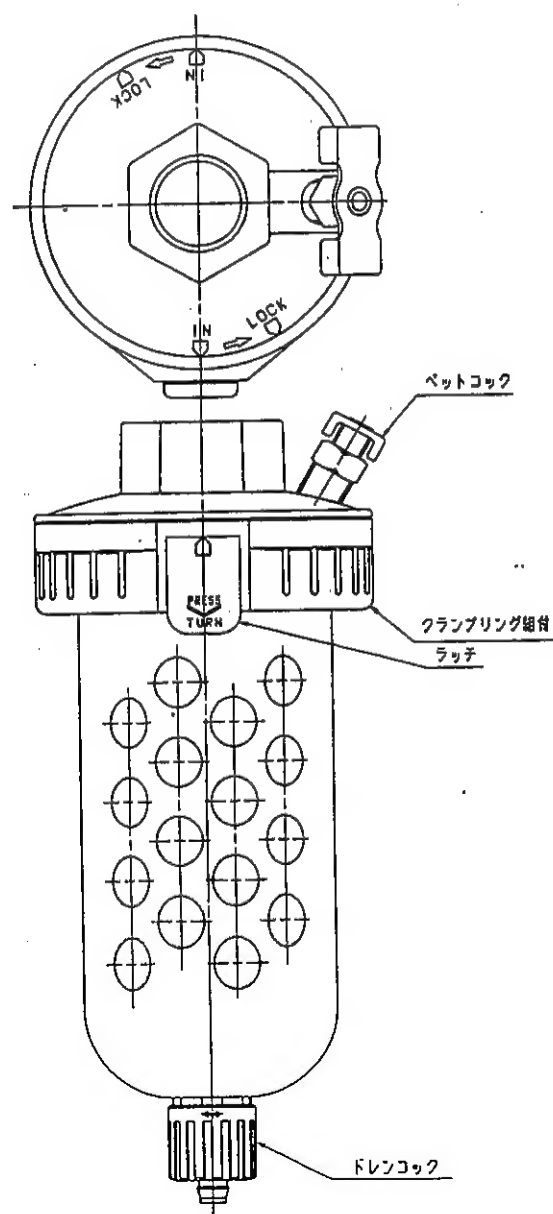
- a) ドレンを自動的に排出しない。(フロートがドレンで覆われている)
- b) ドレン排出後、フロートが下がらない。
- c) ドレンがポタポタ落ちる。
- d) ドレンポートからエアが漏れっぱなしになっている。

4-2. ボウルの脱着方法

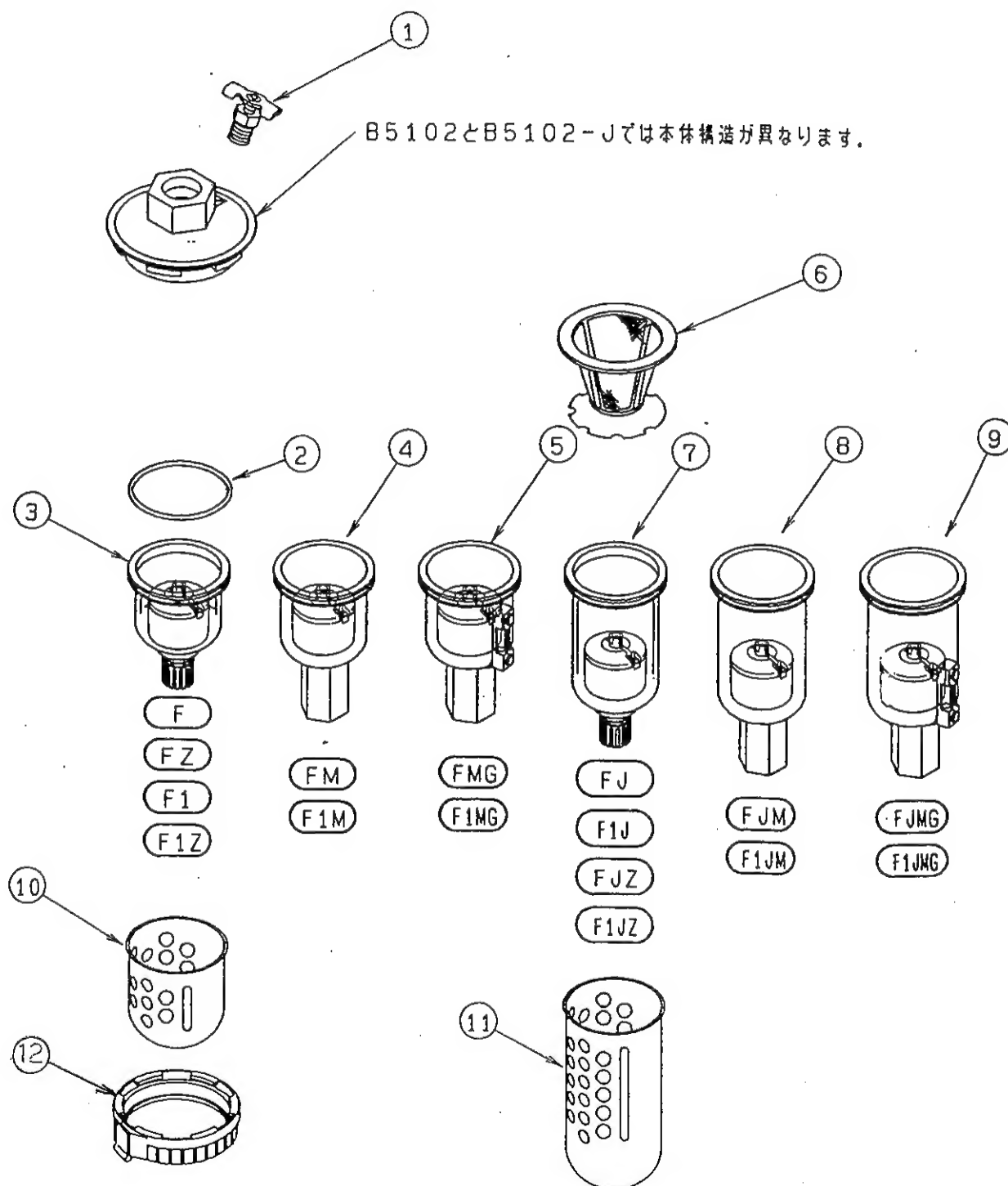
圧縮空気を止めて、ドレンコック、ペットコックなどで残圧排出をし、製品内に圧力がないことを必ず確認してからボウルの取り外しを行なって下さい。

- 1) クランプリング組付のラッチを指で押しながら、クランプリング組付を 30° (ラッチの  マークがボディの LOCK  から IN  マークに合うところまで) 回します。
- 2) そのまま下方に引き抜けば、ボールとボールガードが一緒に外せます。
- 3) 組付ける時は、外す時の逆の要領で行ないます。
- 4) ラッチが"LOCK"状態(ラッチの  マークがボディの LOCK  マーク位置に合うところ)になっていることを確認してから圧縮空気を入れてください。

注 1.) メタルボールとゲージ付メタルボール時はボールガードを使用しません。



4-3. 分解図および部品リスト



| 品名 / 仕様 | 形 番 | 構成 | 数量 |
|--|-----------------|--------|--------|
| ペットコック | DT3000-ペットコック | 1 | 1 |
| スクリーン ジャンボボウル用 | B5102-スクリーン | 6 | 1 |
| ボウル組立(F) 手動コック付オートドレン NO ポリカーボネイトボウル | B5102-ボウル-F | 2 3 | 1 1 |
| ボウル組立(F1) 手動コック付オートドレン NC ポリカーボネイトボウル | B5102-ボウル-F1 | 2 3 | 1 1 |
| ボウル組立(FZ) 手動コック付オートドレン NO ナイロンボウル | B5102-ボウル-FZ | 2 3 | 1 1 |
| ボウル組立(F1Z) 手動コック付オートドレン NC ナイロンボウル | B5102-ボウル-F1Z | 2 3 | 1 1 |
| ボウル組立(FM) 手動コック付オートドレン NO メタルボウル | B5102-ボウル-FM | 2 4 | 1 1 |
| ボウル組立(F1M) 手動コック付オートドレン NC メタルボウル | B5102-ボウル-F1M | 2 4 | 1 1 |
| ボウル組立(FMG) 手動コック付オートドレン NO サイトゲージ付メタルボウル | B5102-ボウル-FMG | 2 5 | 1 1 |
| ボウル組立(F1MG) 手動コック付オートドレン NC サイトゲージ付メタルボウル | B5102-ボウル-F1MG | 2 5 | 1 1 |
| ボウル組立(FJ) 手動コック付オートドレン NO ポリカーボネイトジャンボボウル | B5102-ボウル-FJ | 2 7 | 1 1 |
| ボウル組立(F1J) 手動コック付オートドレン NC ポリカーボネイトジャンボボウル | B5102-ボウル-F1J | 2 7 | 1 1 |
| ボウル組立(F1J) 手動コック付オートドレン NO ナイロンジャンボボウル | B5102-ボウル-FJZ | 2 7 | 1 1 |
| ボウル組立(F1JZ) 手動コック付オートドレン NC ナイロンジャンボボウル | B5102-ボウル-F1JZ | 2 7 | 1 1 |
| ボウル組立(FJM) 手動コック付オートドレン NO メタルジャンボボウル | B5102-ボウル-FJM | 2 8 | 1 1 |
| ボウル組立(F1JM) 手動コック付オートドレン NC メタルジャンボボウル | B5102-ボウル-F1JM | 2 8 | 1 1 |
| ボウル組立(FJMG) 手動コック付オートドレン NO サイトゲージ付メタルジャンボボウル | B5102-ボウル-FJMG | 2 9 | 1 1 |
| ボウル組立(F1JMG) 手動コック付オートドレン NC サイトゲージ付メタルジャンボボウル | B5102-ボウル-F1JMG | 2 9 | 1 1 |
| ボウルガード | B5102-ボウルガード | 10 | 1 |
| ボウルガード(J) ジャンボボウル用 | B5102-ボウルガード-J | 11 | 1 |
| クランプリング組立 | 1144-クランプリング | 12 | 1 |

5. 形番表示方法

